

は　じ　め　に

近年人口構造の変化に伴う老年人口の著しい増加，疾病パターンの変化に加え都市集中化のなかで環境汚染の広域化，複雑化が進み保健衛生上の諸問題が提起されるようになりました。

これらの問題解決にあたっては，諸施策が実施されているところでありますが，現在，今後の予想される疾病や不健康要因の発生を未然に防止する立場から先行的な調査研究に基づく早期発見への重要性が高まっているところであります。

当所では，昭和52年以来全国の地方自治体に先駆け新生児・乳児に対する先天性代謝異常フェニルケトン尿症のマス・スクリーニングを取り上げその後種目を増加し，クレチン症，TBG欠損症，神経芽細胞腫，先天性副腎皮質過形成のマス・スクリーニングを逐次実施し期待どおりの成果をあげ母子衛生の向上に寄与することができました。

また，近年積雪寒冷地で課題となっているスパイクタイヤによる道路粉じんについても積極的に取り組み，その実態について調査研究を続けているところであります。

今後とも経済社会の発展，都市環境の変化，生活水準の向上に伴い高度化，多様化する市民ニーズに対応する調査研究を推進するとともに試験検査体制の充実に努め，さらに長年の念願であった衛生研究所の移築について計画の具体化を図り「健康都市さっぽろ」にふさわしい庁舎の実現に向けて努力したいと考えております。

最後に，皆様方の一層のご鞭達とご指導をお願い申し上げるとともに，この冊子がいささかなりとも関係者各位の方々に役立つことがあれば望外のよろこびであります。

昭和61年2月25日

札幌市衛生研究所長

高　杉　信　男